

学習院女子大学 特別総合科目 III「国際企業」

講義日： 5月 29日

学科・学年・学籍番号：日本文化学科・3年

氏名（ふりがな）：

課題：本日の授業のレポート（要旨、新たな知見、感想など）を本フォーマット2枚以内にまとめてください。提出期限は講義日の週の金曜日16時です。

〈自分が達成すべき目標について〉

私は、この講義を受けるまで、何を目標にすればいいのかも分からず自分というものと向き合うことを避けてしまい、将来についての考えも曖昧にしている自分がいた。しかし、本講義を受けて、私はものすごく感銘を受けた。お話を聞きながら、自分の弱点に気づかされ、同時に強みも見つけることができ、今後の目標も立てることができた。私は、自分の意見に自信がなく「間違っていたらどうしよう」「私のせいでみんなに迷惑をかけてしまったら嫌だな」と考えがちであった。このように自信を持っていないのは失敗することを恐れているからであり、周りの目を気にしてしまうからだと気づけた。したがって、私は同調圧力に弱いのだ。また、「あの人はこんなにすごい考えを持っているのに、なぜ私は安易な考えしかできないのだろう」と、他人と自分を比べてしまうことも多々ある。これらが私の弱点の一部であると気づくことができた。しかし一方で、他人と自分を比べてしまうことはよくないのだが、その捉え方を変えると、他人のいいところを見出すことができるという、強みにも考えることができた。しかしやはり、自分を分析しようとするとマイナス思考になりがちで自分が未だに存在する。よって、今後の目標としては、第一に「自分に自信を持つこと」としたい。人生において成功している人や自分が納得のいく人生を送っている人のほとんどは、失敗を恐れず、自分の考えを大切にしているのだろう。きっと、加賀山先生もそうなのではないだろうか。自分の考えや意見に自信を持っているからこそ、私も含め多くの人々の心を打つような講義ができるのではないだろうか。学生のうちに、たくさん失敗をしてそこから多くのことを学び、心を鍛え、同調に押しつぶされることのない「自分」という存在を確立することを達成すべき目標として掲げ、今後の勉学等に励みたい。そして、社会に出ても負けられない人間になりたいと考える。

〈感想〉

お忙しい中、貴重なお時間を頂きありがとうございました。私は、加賀山先生のお話を聞いて本当によかったなと思います。加賀山先生の言葉には、ものすごく説得力があり、何も明確にならず私の中でモヤモヤしていたものを、まるで見通されているかのように解決してくださり、講義を受けた後はなんだかすっきりとした前向きな気持ちになることができました。また、自分という人間は一体どのようなものなのかが少しわかり、これから

コメントの追加 [KS1]: 有名な経営分析の手法として、以下のようなSWOT分析があります。

S: Strength (強み), W: Weakness (弱み), O: Opportunity (機会), T: Threat (脅威)

佐藤さんの文章は、意図したのか、無意識なのかはわかりませんが、この手法と一致しており、説得力を増しています。

コメントの追加 [KS2]: その通りです。そのようになった方法が大切なのですが、その方法は意外なものですよ。

なぜなら、誰もが当たり前と思っていることをまじめにコツコツとやっただけだからです。

大学時代には、予習・復習を欠かさず、分からない箇所は、必ず先生に質問していました（当たり前のことですよ）。

学者になってからは、毎年、批判を恐れずに独創的な論文を公表し、数年ごとにその成果を教科書として出版し、指導する学生に博士号を授与してきました（これも当たり前のことですよ）。

このように当たり前のことをコツコツとやっていると、いつの間にか、誰も真似できない、当たり前でない境地に達することができるのです。それこそが、本当の意味での自信の獲得の方法だと思っています。

の社会が求めていること、自分がこれからすべきことについて自分なりの答えを見出すことができました。特に、お話の中で感銘を受けたのが日本人の同調圧力についてです。上記でも述べたように、私自身、同調圧力に押され気味であったため、このお話は私の心にすごく響きました。意見を合わせるからいいのではなく、同じ目標に向かいながらも異なる意見を交わしあいながら、互いに理解していくことで、より良い結果にたどり着くことができるという事の大切さを知ることができました。また、加賀山先生がそれを歌のハーモニーに例えて説明して下さったことでより理解を深めることができ、すごく素敵な例えだなと思いました。今後は、多数派の意見に流されるのではなく自分の意思も大切に、ハーモニーできるように心がけたいと思います。

今回の講義は、今まで私が受けてきた中でも本当に心に残るような授業でした。加賀山先生が教えて下さったことを、しっかりと心に留めて、社会に出る準備に励みたいと思います。改めて、大変すばらしいお話をしていただき、ありがとうございました。

なんという素晴らしい感想でしょうか。私は、長きにわたって教師をしてきましたが、これほど素敵な感想をいただいたのは、初めての経験です。月並みな言葉である「教師冥利に尽きる」という表現を突き抜けるほどに、心を打たれました。

でも、お伝えしたいのは、私の感想ではなく、さんの優れた文章力です。これからの長い人生の中で、さんも、様々な困難な問題に直面し、人を説得しなければならない場面に遭遇されると思います。その時に、説得しなければならない人に、手紙なり、メールなりで、心のこもった文章を書いてください。さんの文章力をもってすれば、どんな人の心をも動かし、事態を良い方向へと向かわせることができると思います。